
《ニートなおれの話》

とーよー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

《ニートなおれの話》

【Nコード】

N9565T

【作者名】

とーよー

【あらすじ】

日記的な紹介的な作文

まあ…生まれつき気持ちはずっとニートであるが、金がない時は物理的に働かなければいけなかった訳である。

長く続いたものなんて1つも無ければ正社員に等なりたい等と思った事は1度も無い。

ダメ人間というのは、本当にダメで仕事なんて続かない。

そんな事してるヒマがあるなら、遊んだり、眠ったり、タバコを吸ったりしなくてはならない。

しかし、ソレは認められず、屋根の下に住んでる限り、家賃なんてものが発生してしまう。

もちろん、そんなものを払う気は無いし、払う必要もない。

なぜ、家賃なんて形無い物に金を使わなければならないのだろうか？

全く意味がわからない。

電気やガス等とつくに止まった。

そんなものこそ、最も払わないで良いものではないだろうか？

逆に言えば

なぜ払う？

なぜに払わねばなるまいか？

べつに電気を使っているからといった所で、なにも、その電気代というヤツを、もし仮に、払った所で、その金が電気を発明したエジソンに届くわけではない。

電気を発明したのはエジソンさんだ。

それなのに、なぜ、訳もわからぬオジサンに電気を止められなくてはいけない？

「電気屋です。止めにきましたー」等と気軽に人の家の電気を止める権利はあるのだろうか？

あのオジサンはなんなんだ？エジソンの子孫とでもいうのか？とにかくおれはエジソンとなんのカンケーもないヤツにおれの電気のことをあーだこーだ言われるのは嫌なのである。

もうガスに関しては、なんの事やら、分からない。

誰が作ったのか、そもそも作るものなのか、それさえも、分からず、もちろん、そんな訳の分からぬものに、払う金などない。

ナイわけなのだが、請求は来る訳で、それが払えないと止められる訳で、家に住めなくなってしまうのだ。

それで

しょーがないから、彼女の家にあがり込む。

彼女は嫌がる。

肩身が狭くなる。

「働け」と愚痴りだす。
機嫌をとって誤魔化す。

いよいよ

ついに

ごまかせなくなってくる。

「面接いつてきまーす」と、いつて、本屋で立ち読みしては、家に帰り、何日かたち「面接おちたよー」とウソを付く日々が続く。いよいよ彼女が疑いだす。もう、こうなったら、おもいきって「仕事決まったよー」といつてみる。もちろん面接に等いつてないが後先の事など何も考えず言ってみる。ついに架空の給料日がやってくる。彼女は、今日は、今まで自分が払っていた支払いを少し返してもらえると、楽しみにしている。しかし、おれに給料を払って下さる方などドコにもおらず、おれは彼女に土下座する。彼女は呆れる。おれは号泣で必死に許しをこう。呆れた彼女はついに俺を許す。おれは今まで以上に力を入れ、彼女にマッサージをする。

等々…コレが誰の人生なのか説明などはいりますか？、、。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9565t/>

《ニートなおれの話》

2011年10月9日04時49分発行